

地域で子どもを見守る・育てる

# 子どもの居場所づくり講演会



こども食堂ってご存知ですか?



もり くり しげ かず  
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授 森栗 茂一氏

淀川区内では、こども食堂や宿題広場などの家庭や学校以外の「第三の居場所」づくりがすすんでいます。「こども食堂」は、子どもや大人のほっとできる居場所として、地域や民間団体、個人の皆さんにより運営されています。

淀川区役所では、区社協と協力し、こうした活動の輪がもっと広がるよう2つの講演会を開催します。



【森栗先生プロフィール】  
大阪市青少年問題協議会 会長。  
民俗学を出発点としつつ、各地で住民協働型交通まちづくりに関わる(土木工学の領域以外の専門家)。観光ツーリズム、復興住宅コミュニティづくり、住民の協働による合意形成を通して、全国を寅さんのように渡り歩いている。

話題の「こども食堂」「宿題広場」の発表を聞いてみよう!

## 福祉のつどい～福祉実践報告～

参加費無料  
申込み不要

日時 10月18日(水) 14:30～16:00

会場 区民センター 1階ホール

内容 「福祉実践報告～淀川区に広がる子ども支援～」  
区内のこども食堂などの運営者によるパネルディスカッション。コーディネーターは森栗先生。

※第一部式典は13:30～14:30(開場13:00)です。

問合せ 淀川区社会福祉協議会 6394-2900

淀川区の子どもの居場所づくりの新しい活動

## 「まちは大きな家族」

参加費無料  
申込み不要

～集まれば楽しい、強い。こどもは未来～

日時 11月26日(日) 14:00～16:00

場所 区役所5階会議室

内容 森栗先生による講演と  
グループディスカッション

問合せ 総務課5階51番  
6308-9625



# やまちゃんの「ごころ」

やまもと まさひろ  
淀川区長 山本 正広



## 次代を担う若い世代の力

淀川区の中学校では毎年2学期の始業式の後、生徒会同士で交流会を開催しているそうです。

今年は何と「区長と語ろう」というタイトルで区役所に区内中学校の生徒会役員の皆さんが集まってくれました。企画も進行も全て役員の皆さん主導です。

意見交換会では「ヨドネルサミット」と題して睡眠習慣の改善にはどうしたら良いかなどを、話し合ってくれました。

また、「暮らしやすい街づくり」というテーマで中学生の視線による意見を活発に出してくれました。

この生徒会交流会の2日後には淀川区English Festivalというイベントがありました。

この中で小学生英語暗唱大会や、第4回淀川区長杯中学生英語スピーチコンテストが開催されました。

特に中学生の皆さんは、クラブ活動や将来の夢などについて堂々と長文のスピーチをしてくれました。

次代を担う若い世代の力を実感し、とても頼もしく、嬉しく思いました。

こうした淀川区の子ども達がこれからはすくすくと伸びていってくれるように、保護者の皆さん、教育現場、地域そして行政など全ての関係者が力を合わせて取り組んでいかねばならないなど、決意を新たにしました。



▲区内中学校の生徒会役員の皆さんと一緒に。

